

きいて・めもして・こたえよう

いねかり体験の 手順

名前

聞くめあて いねかりの「手順」「道具」「安全の約束」を、分けてメモしましょう。

おとさない言葉：手順・道具・安全

放送が終わったら、開いて問題に答えましょう。

(1) いねかりの手順は、いくつですか。

(2) かり取ったいねは、何かぶくらずつ、たばねますか。

(3) かまを使うとき、けがをしないために、大切なことは何ですか。○をつけましょう。

ア いねを持つ手を、かまの通り道からはなす

イ かまを持ったまま走る

ウ はを人に向ける

(4) 使い終わったかまは、どのように置くといいましたか。

(5) いねかり体験について、聞いておきたいことを「しつもの文」で一つ書きましょう。

すすめ方

- ① 中央の点線で山折りにして、「めも」の面だけを表にする（問題を先に見せない）。
- ② この放送文を先生が読む（または用意した音声を流す）。読む回数：1回。聞きながらメモを取らせる。
- ③ 放送が終わったらプリントを開き、メモを見ながら問題に答えさせる。

放送文

来週、田んぼで、いねかりの体験をします。春に植えたいねが、実り、いよいよ、しゅうかくの時期です。今日は、いねかりの手順と、使う道具、そして、安全に作業するための注意を、説明します。

いねかりの手順は、三つです。まず、かまを使って、いねの、根もとに近いところを、かり取ります。次に、かり取ったいねを、十かぶくらいずつ、たばねます。そして、そのたばを、さかさまにして、「はさ」とよばれる木のたなに、かけてほします。

使う道具は、二つです。一つは、いねをかる「かま」。もう一つは、いねをたばねるための「わら」です。かまは、とてもよく切れます。指を切らないように、いねを持つ手は、かまの通り道から、はなしておくことが、大切です。

安全のために、三つの約束があります。一つ目は、かまの、はの部分、人に向けないこと。二つ目は、かまを持ったまま、走らないこと。三つ目は、使い終わったかまは、決められた場所に、はを下にして、置くことです。

自分たちで育てたお米を、自分たちの手で、しゅうかくする、きちょうな体験です。安全に気をつけて、実りのよろこびを、味わいましょう。

メモのれい

いねかり体験の手順・道具・安全

手順三つ：①かまで根もとをかり取る→②十かぶずつたばねる→③さかさに「はさ」にかけてほす

道具：かま（よく切れる）・わら（たばねる）／いねを持つ手はかまの通り道からはなす

安全 約束三つ：①はを人に向けない②持ったまま走らない③使い終わりは決められた場所にはを下にして置く

こたえと かいせつ

(1) 三つ

「いねかりの手順は、三つです」の部分です。

(2) 十かぶくらい

「十かぶくらいずつ、たばねます」と言っていました。

(3) ア（いねを持つ手を、かまの通り道からはなす）

「いねを持つ手は、かまの通り道から、はなしておくことが、大切です」と言っていました。

(4) 決められた場所に、はを下にして置く

「使い終わったかまは、決められた場所に、はを下にして、置く」と言っていました。

(5) (例) かまは、どれくらいの重さですか。／かったいねは、このあとどうなりますか。

いねかりに関係する「たずねる文（～ですか。）」になっていれば正解です。